

試験日	2025年2月22日(土)
入試種別	大学院(修士課程)入学試験問題
学部・研究科	法学研究科
科目名	民法
解答例又は採点時の評価ポイント	
<p><採点時の評価ポイント></p> <p>(1)は、賃貸借における賃貸人と賃借人と権利義務の整理ができているか。(2)は、期間満了による契約の終了時に賃借人が更新を請求した場合の「正当事由」の判断(借地借家法26条1項等)に関する判例規範の知識。(3)は、賃料不払いによる債務不履行に対して解除権が行使された場合、「信頼関係破壊」の法理に関する知識。(4)は、賃借人が更新しなかった場合に転借人の地位がどうなるかについての検討について、評価を行った。</p> <p><出題意図></p> <p>本問は、賃貸借契約という民法上の基本的な契約関係についての知識と論点に関する思考を問うており、大学院において民法の研究を行う上で必要な能力を見る問題である。</p>	